

立命館大学大学院(大阪府茨木市)のテクノロジー・マネジメント研究科では今年度春学期の第2期(6~7月)に技術経営を学ぶ「オープンイノベーション研究会」が開講された。医療、保険、建設、農業、流通など幅広い分野で活躍するビジネスマンや経営者、識者らが企業の持つノウハウや高度な技術内容について紹介した。新型コロナウイルスの影響下、授業は遠隔で学ぶオンライン方式で行われたが、講座を通じて受講生らは知識を深めた。

(講師の役職は講義時のものです)



立命館大学大学院 テクノロジー・マネジメント研究科 「オープンイノベーション研究会」

R RITSUMEIKAN

令和2年度の講義から

医療機器開発 大学と企業の連携を

北野博也・社会医療法人 誠光会理事長 私が関わる医療機器の開発について、日本は世界に遅れを取っているといわれる。それは人口1億2千万人の日本の市場が小さいことや、国民に新しいものを受け入れる気質が乏しいことなどが原因だ。しかしカニの甲羅から抽出した物質で皮膚の症状を改善したり、介護者の負担を軽減するロボットを開発したり...と、日本の技術力



北野博也氏

仙石慎太郎・東京工業大学准教授 携帯端末によって行われる健康サービス「モバイルヘルス」の活用領域が年々増加し、その市場規模は5~6兆円とされる。例えば、モバイルヘルスによって心拍数は高い。インドでは医師と技術者が、ビジネスパートナーがチームを組んで医療機器を開発する取り組みがなされているが、日本でも大学と企業の連携がますます求められる。

消費カロリー、呼吸などの個人の健康データを把握することで、心臓や喘息などの発作を事前に検知し、生命の危険度を軽減することが可能。また、ゲーム的な要素をもつアプリによって、たばこや禁煙などの治療にも役立てられている。米国では食品医薬品局(FDA)とIT企業がモバイルヘルスの取り組みを推進しており、治療のみならず予防医学にも大きな役割を果たすことが期待されている。

モバイルヘルス 活用領域が増加



横光健吾・立命館大学特任助教 現在、キャンブル依存症は1%といわれる。キャンブルが重症化するとお金を得るために嫌なことを忘れるためにキャンブルをするようになるが、そうしたキャンブル行動を心理学的に観察すると、「たまたま当たる」や「もう少しで当たる」ところだったという経験値もキャンブルを継続させる大きな理由に

キャンブル行動 心理学的に観察

健康増進を支援する新保険

生命保険は社会の環境の変化に合わせて進化してきたが、平均寿命が延びて「人生100年時代」といわれる今、住友生命では疾病や万が一の場合に保障するだけでなく、顧客の継続的な健康増進を支援する新たな保険「住友生命 Vitality」を2018年に導入した。南アフリカの金融サービス会社、ディスカバリー社が開発し、現在は世界各国で展開している。普段から健康を意識した生活を送ることで保険料が安くなったり、ホテルやフィットネスジムなどの割引特典が得られる。販売開始から約2年だが、加入者の歩数が増えたり血圧が下がるなどの実績が報告されている。

西野貴智・住友生命保険 Vitality (バイタリティ) 戦略部長



看護の実践能力高める工夫

山田小織・福岡女学院看護大学准教授

現在、就業している看護師数は約122万人であり、今後も増加する見込みだ。人々の療養の場は病院から在宅へと移行し、健康課題は多様化、複雑化してきている。このため本学では看護教育の充実に向けて模擬訓練(シミュレーション)を通じて教育に取り組んでいる。また本学では、情報通信技術(ICT)を活用し、仮想の町で看護が学べる新教材「ミッシンタウン」をシステム開発会社、マージシステム(福岡市)と共同開発。ミッシンタウンの住人の様々なデータを活用し、学生の学習意欲とともに看護の実践能力を高める工夫をしている。



建設現場無人化施工に注力

国土交通省は建設現場の生産性向上を目的として情報通信技術(ICT)を活用する取り組み「i-Construction」を推進しており、当社はICTによる無人化施工に注力している。複数の無線を統合することで、現場から30m以上離れた一人のオペレーターがモニター画面を見比べながら何台ものトラックやブルドーザーを遠隔で操作することができ、特に自然災害が頻発している昨今では、危険な現場に入って作業することができないため、こうした無人化施工が役立つ。また、遠隔操作技術の精度を高めるため、仮想現実(VR)を駆使し現場にいるかのような体感ができる訓練も始めている。

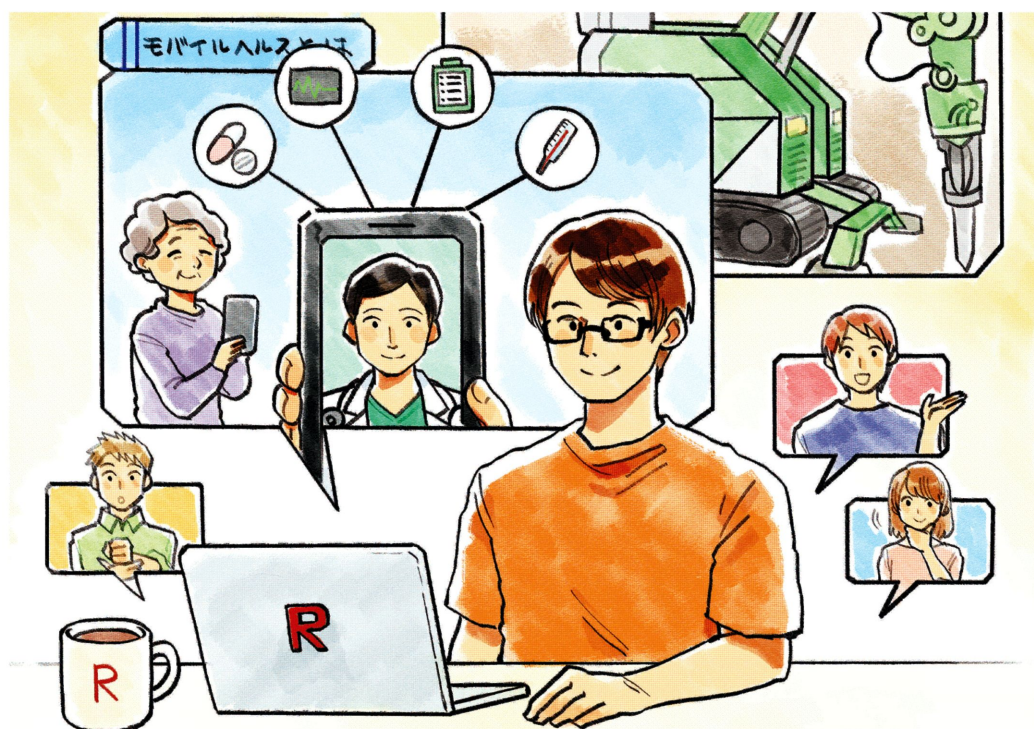


北原成郎・熊谷組 ICT推進室長



オープンイノベーション
企業や大学、自治体など異業種や異分野が持つ技術やアイデア、ノウハウなどを組み合わせ、革新的なビジネスモデルや製品開発につながる方法論。

ア、ノウハウなどを組み合わせ、革新的なビジネスモデルや製品開発につながる方法論。



オープンイノベーションを考える機会に
担当教員・児玉耕太准教授
オープンイノベーション研究会では大学と大企業、スタートアップ企業など技術経営に関わる関係者が協力して、研究、ノウハウをもとにしたビジネスについて詳しく紹介して頂きました。今年度は全ての講義がオンラインという環境のもと、留学生を含む受講生らは実際のビジネスについて学び、熱心な質疑も交わされて今後のオープンイノベーションのあり方を考える貴重な機会になりました。ご協賛、ご協力を賜りました企業各社、関係者の皆様に感謝し御礼を申し上げます。



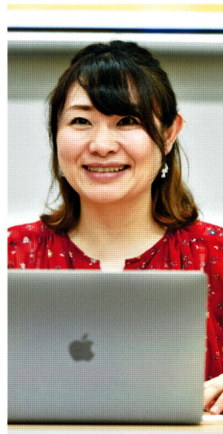
農産物差別化で中山間地を元気に

米田茂之・農業生産法人リコベル代表
当法人は平成26年に設立し、トマトやイチゴ、ブルーベリーなどをハウス栽培し、ようやく年間を通じて安定的に生産できるようになった。販売戦略は他の産地が出荷しない時期を狙って生産したり、糖度の高い独自ブランドのミニトマトを開発しラベルに工夫を凝らしたり...と、差別化を進めている。また、過熟や傷ものなど規格外のトマトは濃厚なジュースに加工するなどし好評を得ている。商品は日本の国土の約7割を占める中山間地を農業で活性化したいと願っている。



コンビニは「製造もする小売業」

工藤由佳・フリーランスコンサルタント
私はローソンでの勤務を経てコンサルタントとして独立したが、コンビニエンスストアは「製造もする小売業」であり、マーケティングではあらゆる角度から市場を分析し、販売促進策を練ることが求められる。例えば主婦を対象に夕方や夜間のおかずの需要を獲得するにはどうすればいいかや、健康志向の人たちを対象に新規来店を促すなど、きめ細かい対応が必要だ。その上で顧客に商品の価値をどのように的確に伝えるかが問われる。



協賛/住友生命保険、熊谷組、共立メンテナンス、マージシステム(順不同)

協力/産経新聞社

企画・制作/産経新聞社メディア営業局

私たちは、「立命館大学テクノロジー・マネジメント研究科 オープンイノベーション研究会」を応援します



よい朝のために。
KYORITSU
HOTELS & DORMITORIES

株式会社共立メンテナンス
京都支店

〒604-8187 京都府京都市中京区御池通東洞院西入る笹屋町435
京都御池第一生命ビルディング8F
TEL.075-221-3656 <https://www.kyoritsugroup.co.jp/>

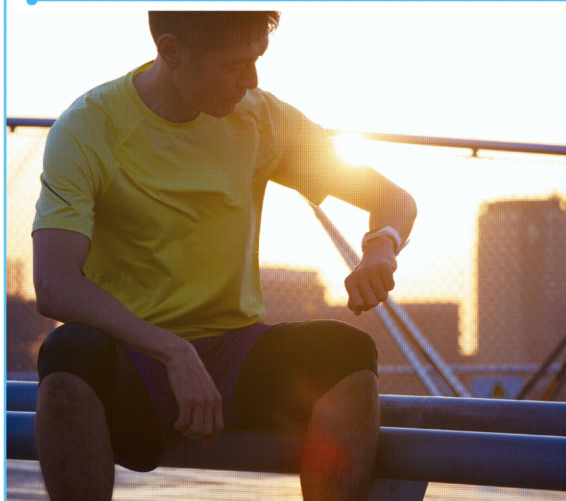
高める、つくる、そして、支える。



熊谷組

株式会社熊谷組

〒162-8557 東京都新宿区津久戸町2番1号
TEL.03-3260-2111 <https://www.kumagaigumi.co.jp/>



未来を変えていく、健康増進型保険。

住友生命 Vitality

住友生命保険相互会社

〒104-8430 東京都中央区築地7-18-24
<https://www.sumitomolife.co.jp/>

ITのお悩み
全力で解決します



Merge System

マージシステム株式会社

マージシステムは、システム開発・ITインフラ整備・WEB制作
それぞれのプロフェッショナルが集まった専門家集団です

〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名2-9-29 第2プリンビル2F
TEL.092-791-5744 <https://www.merges.co.jp/>